

# まちなか PRESS

楽しい話題をここから発信!!

1

©まちなか PRESS 編集・発行 / 株式会社夢現

2021.1.1 vol.91

まちなか PRESS 毎月 1 日発行

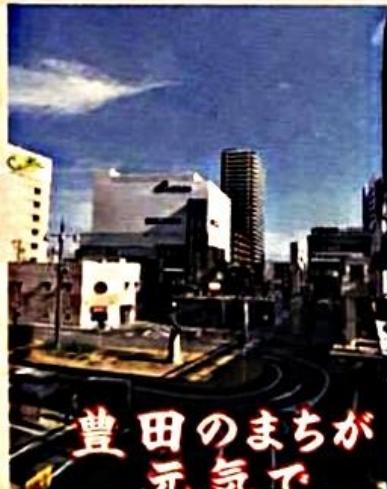
株式会社夢現

〒471-0027 豊田市喜多町 4-25-5  
TEL 0565-31-6977 FAX. 0565-31-6982  
MAIL mugen@sun.ocn.ne.jp

M-SPACE MUGEN

〒471-0027 豊田市喜多町 2-170 KITARA 4F  
TEL 0565-41-7150 FAX. 0565-41-7113

新年あけまして  
おめでとうございます。



豊田のまちが  
元気で  
あり続けますよう。

令和三年正月

キラッと! インタビュー Nice Person Interview

## 中国語、パソコン、ドラム、思ったらやる! 楽しく学び続けるから元気でいられます。



よこやま のりこ  
**横山 憲子さん**  
(中国語通訳案内士)



役所で、中国語関係のお仕事をさせてもらっています。裁判所の法廷通訳を始めたのは、傍聴で感じた「通訳の曖昧さ」から。事前勉強や聞く通訳者もいましたね、人生を左右するような局面で、これではいけないと思ったんです。言葉が通じない虚しさ、心細さは身にしみています。幼少から身につけた言語が日本で誰かのためになるのは、本当に有り難いことです。

「言葉が通じない疎外感。  
『なんでここに来たんだろう?』

中国で仕事をしていた親のもと昭和15年に生まれ迎えた

敗戦。ソ連兵に怯え、月を見ながら砂漠をただ歩いた逃避

行。運良く援助を受けられて、やっと生活が落ち着いたと

日本に引き揚げきました。

でも子供の私にはその意味がわからず、「なんでここに来たんだろう、中国に帰りたい」と何度も思つた頃、昭和28年に12歳で

年生ですが、まず入れられたのが1年生の教室。飛び級で

学年を上がって中学へ。高校

と何度思ったことか。言葉が通じない疎外感もありました。その時、学齢は小学校6年生ですが、また入った教室。飛び級で

その後、縁あって結婚し、豊田に来ました。エレクトロニン講師、数学塾などをする一方で、身に付いているはずの中国語を忘れていくことが寂しくて、悔しくて、中国語も習い始めました。仕事にできるよう、中国語検定も受け続けましたね。やがて国際センターや、中国人の国内移動の付き添い、バドミントンの国際試合の通訳、帰還した残留邦人の自立援護などにも携わってきました。帰還者援護では、厚生労働大臣から表彰していただきました。今は市

へは2年遅れで入学。そして短大で学び幼稚園教諭資格も取りました。「女は勉強しなくてもいい」という考え方があった時代です。父のいない肩身の狭い暮らしの中、高校・短大の進学を反対する親戚もありましたが、資格を得て糊にしていくためにも、絶対に進学したかった。母も同じように思つて応援してくれました。

### 中国語を学び直し 通訳案内士、法廷通訳も

価値があると思ったらすぐやるんです。音楽が好きで、ピートルズが大好き。ポール・マッカートニーの来日公演は東京まで観に行きました。ポールは本当にカッコよかったです! パソコンも初めは手こずりましたが今は何でもパソコンにしたが今は何でもパソコンにという習慣になっています。打楽器が好きで、あこがれのドラムを習い始めました。ビートルズの「Hey Jude」はゆったりめだけど意外に難しい。「Can't Buy Me Love」を叩いていると「無」になれるんですね。打楽器ってホント、気持ちいい!

中国のことわざに「活到老、学到老」があります。生きている限り学び続けるという意味です。明日死んでもいいように、今日好きなことをするつもりで生きています。昭和15年生まれですからね、整体院や病院のお世話にもなっています。でも楽しく学び続けます。さあ、明日はドラムのレッスンの日です!